



平成30年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年4月27日

上場会社名 株式会社 アイ・エス・ピー

上場取引所 東

コード番号 9702 URL <http://www.isb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若尾 逸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 川崎 工三

TEL 03-3490-1761

四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	4,480	0.9	411	16.8	415	20.1	273	67.0
29年12月期第1四半期	4,440	28.6	352	282.4	345	255.4	164	282.6

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 259百万円 (54.0%) 29年12月期第1四半期 168百万円 (951.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	53.64	
29年12月期第1四半期	32.13	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	9,776	5,936	60.7
29年12月期	9,195	5,805	63.1

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 5,936百万円 29年12月期 5,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		25.00	25.00
30年12月期					
30年12月期(予想)		0.00		25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,500	3.2	340	11.7	350	8.9	180	5.1	35.25
通期	17,500	5.0	720	20.7	740	18.0	380	23.5	74.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有な会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年12月期1Q	5,105,800 株	29年12月期	5,105,800 株
30年12月期1Q	6 株	29年12月期	6 株
30年12月期1Q	5,105,794 株	29年12月期1Q	5,105,794 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、米国経済が引き続き好調を維持、また中国経済の持ち直しなどもあり、加えて国内の企業収益や雇用情勢また個人消費も回復基調を維持しており、総じて堅調に推移いたしました。しかしながら、北朝鮮や中東など地政学的リスクの拡大が景気の減速を招く可能性も指摘されており、株価の上昇が一服し一進一退を続けるなど、景気回復が踊り場を迎えたとの見方も台頭してきております。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、大手企業を中心としたIT関連投資は引続き高い水準にあり、好調な企業収益を背景に、従来のシステム開発案件に加え、IoTやAI等に関連した新たなサービスの開発も拡大傾向で推移いたしました。

このような環境の中で、当社グループは「CREATE THE NEXT GENERATION」をテーマとした3か年中期経営計画を当期からスタートさせました。プロダクト事業の展開と拡大、高付加価値業務へのシフト、コスト競争力強化、グループ経営戦略強化を重点戦略とし、50周年を迎える3年後の目標達成に向け当事業年度をスタートしております。その最初の四半期である当第1四半期に関しましては、業界の追い風にも乗り好調なスタートとなっております。

以上、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高44億80百万円（前年同四半期比0.9%増）、営業利益4億11百万円（前年同四半期比16.8%増）、経常利益4億15百万円（前年同四半期比20.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億73百万円（前年同四半期比67.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(情報サービス事業)

情報サービス分野では、システム開発案件の増加を背景に「業務システム」が特に順調に推移しているほか、「組込み」「フィールドサービス」も堅調に推移しております。一方、「携帯端末」は、スマートフォン開発の減少の影響を受けておりますが、全体を通しては、緩やかな拡大傾向で推移いたしました。

プロダクト事業においては、平成30年4月より、「PET-CT診断用DICOMビューア L-Share Viewer」の販売を開始するなど着実に成果が出始めております。

以上の結果、当事業における売上高は34億99百万円（前年同四半期比2.1%増）、営業利益は2億60百万円（前年同四半期比34.8%増）となりました。

(セキュリティシステム事業)

セキュリティシステム事業は、堅調に推移しておりますが、一部に工期の遅れが生じたことにより、売上の計上時期が第2四半期連結会計期間になったこと等が影響し、売上高、営業利益ともに前年同四半期を下回りました。

以上の結果、当事業における売上高は9億81百万円（前年同四半期比3.2%減）、営業利益は1億49百万円（前年同四半期比5.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、97億76百万円と前連結会計年度末より5億80百万円増加いたしました。これは主として現金及び預金、受取手形及び売掛金や繰延税金資産等の増加額が、商品やのれん、投資有価証券等の減少額を上回ったことによるものであります。

負債は、38億39百万円と前連結会計年度末より4億48百万円増加いたしました。これは主として支払手形及び買掛金や未払法人税等、賞与引当金等の増加額が未払金、受注損失引当金等の減少額を上回ったことによるものであります。

純資産は、59億36百万円と前連結会計年度末より1億31百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金の増加額がその他有価証券評価差額金の減少額を上回ったことによるものであります。

なお、自己資本比率は、60.7%と2.4ポイント低下いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第1四半期の業績は期首計画を達成し、また、平成30年2月14日の期首業績予想公表時に比べ、今後の外部環境や業界の動向、また当社グループの受注動向等に大きな変動はないと考えており、第2四半期累計および通期の連結業績予想につきましては期首業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,668,466	3,182,503
受取手形及び売掛金	3,378,831	3,496,003
前払費用	91,190	144,391
商品	415,267	341,651
仕掛品	223,917	207,008
貯蔵品	2,002	2,002
繰延税金資産	112,683	171,834
その他	65,511	33,763
貸倒引当金	△19,943	△19,649
流動資産合計	6,937,925	7,559,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	401,306	400,495
減価償却累計額及び減損損失累計額	△272,877	△274,305
建物及び構築物 (純額)	128,429	126,190
土地	605,084	605,084
その他	458,929	451,854
減価償却累計額及び減損損失累計額	△364,559	△366,774
その他 (純額)	94,369	85,080
有形固定資産合計	827,883	816,355
無形固定資産		
のれん	506,531	468,549
その他	212,949	222,302
無形固定資産合計	719,481	690,852
投資その他の資産		
投資有価証券	421,997	404,351
長期前払費用	5,632	5,845
差入保証金	159,329	170,150
会員権	11,600	11,600
繰延税金資産	67,499	71,581
その他	110,004	111,483
貸倒引当金	△65,478	△65,573
投資その他の資産合計	710,584	709,439
固定資産合計	2,257,949	2,216,646
資産合計	9,195,875	9,776,156

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,063,163	1,106,631
短期借入金	830,000	830,000
未払金	408,338	383,888
未払費用	58,987	94,923
未払法人税等	128,693	225,910
未払消費税等	165,498	226,297
賞与引当金	26,356	342,126
役員賞与引当金	—	4,401
受注損失引当金	6,239	12
その他	279,385	193,309
流動負債合計	2,966,664	3,407,501
固定負債		
退職給付に係る負債	172,997	173,669
役員退職慰労引当金	156,349	165,861
資産除去債務	53,950	54,196
繰延税金負債	34,623	33,035
その他	6,103	5,282
固定負債合計	424,024	432,044
負債合計	3,390,688	3,839,546
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,707,526	1,707,526
資本剰余金	2,311,704	2,311,704
利益剰余金	1,680,305	1,826,538
自己株式	△4	△4
株主資本合計	5,699,531	5,845,764
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136,014	123,117
為替換算調整勘定	△30,358	△32,271
その他の包括利益累計額合計	105,655	90,845
純資産合計	5,805,187	5,936,610
負債純資産合計	9,195,875	9,776,156

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	4,440,532	4,480,937
売上原価	3,541,399	3,472,645
売上総利益	899,133	1,008,291
販売費及び一般管理費	546,752	596,818
営業利益	352,381	411,472
営業外収益		
受取利息	303	11
受取配当金	500	3,000
保険事務手数料	798	758
保険解約返戻金	812	1,952
その他	1,163	1,186
営業外収益合計	3,577	6,908
営業外費用		
支払利息	6,585	977
為替差損	614	1,340
その他	2,895	534
営業外費用合計	10,095	2,852
経常利益	345,862	415,529
特別損失		
役員退職慰労金	9,074	—
特別損失合計	9,074	—
税金等調整前四半期純利益	336,788	415,529
法人税、住民税及び事業税	130,535	200,787
法人税等調整額	42,226	△59,135
法人税等合計	172,762	141,651
四半期純利益	164,025	273,877
親会社株主に帰属する四半期純利益	164,025	273,877

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年3月31日)
四半期純利益	164,025	273,877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,410	△12,897
為替換算調整勘定	△2,172	△1,913
その他の包括利益合計	4,238	△14,810
四半期包括利益	168,264	259,067
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	168,264	259,067

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額(注)	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	3,426,472	1,014,060	—	4,440,532
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,098	—	△5,098	—
計	3,431,570	1,014,060	△5,098	4,440,532
セグメント利益	193,579	158,801	—	352,381

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「セキュリティシステム」セグメントにおいて、株式会社アートの株式を取得したことにより、同社およびアートサービス株式会社を連結の範囲に含めました。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結会計期間末において、457,024千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、株式会社アートおよびアートサービス株式会社を連結の範囲に含めたことにより、当社グループの事業展開、経営資源の配分の決定及び業績評価の方法を実態に即して見直したことにより、報告セグメントの区分を変更しております。従来は「情報サービス」の単一の報告セグメントでありましたが、「情報サービス」と「セキュリティシステム」の2報告セグメント体制へ変更しました。なお、前第1四半期連結累計期間につきましては、「情報サービス」の単一セグメントに変更はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額(注)	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	3,499,657	981,280	—	4,480,937
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,012	—	△7,012	—
計	3,506,669	981,280	△7,012	4,480,937
セグメント利益	260,957	149,472	1,042	411,472

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。